

段級

地

曲かりは下からなし！
徐々に太くしてはねる

秋

間

はねて
二画目へ流ける

長く

聲

仰揚を上げる
へこみ

秋の聲は天地間にみちみちて
萬物にそのきざしがみられる
(陸游)

雁塔聖教序・唐時代、褚遂良の
倣書で書いています。
書は行書の筆意を帯びた楷書。
点画の間は軽妙な細い線で、
ゆったりとしていて、粘り、抑揚がある。

半紙を六つに折って各行の中心に書く

天

両払いで
字幅を作る

ゆるゆる
ゆるゆる

太く